

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 石原 壽朗

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
1. 新型コロナウイルス感染症対策について	<p><b>【趣旨説明】</b>                      新型コロナウイルスによる感染症が世界各地に急速に拡大するなか、武豊町では「新型コロナウイルス感染症対策本部」を早期に立ち上げ、迅速かつ的確な対策を講じている。                      しかし事態の収束は未だ見えず、町民の生命と健康、健全な生活を守るため、われわれ会派「きずな」も職員とともに全力で対応していく所存です。                      この国難ともいえる危機に対し、国、県、町がそれぞれ施策を実行しているが、現在既に取り組みされている施策と今後終息するまでの感染からの不安を払拭する施策について、以下4点を質問する。</p> <p><b>【質問事項】</b>                      ①既に特別定額給付金など、交付手続きが開始された制度もあるが、新型コロナウイルスに関連して実行される各施策の現況と作業を進めるうえで出てきた課題とその対策は。                      ②文部科学省では緊急事態宣言を受け、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に関する令和2年度補正予算措置が検討されている。武豊町の各学校へのLAN整備を踏まえ、オンライン教育など今後の教育ICT化計画をどのように推進していくのか。                      ③今後の感染拡大を予防するため、厚生労働省が「新しい生活様式」を公表した。本町の事業や学校では、この「新しい生活様式」をどのように取り入れていくのか。                      ④新型コロナウイルス対策では緊急的な支援と継続した支援が求められる。各市町がそれぞれの自治体の実情に合わせた支援策を検討実施するなか、本町では早い段階より町独自の緊急的な支援策が発表、実行に移され、町民の不安解消が図られている。新型コロナウイルスの終息が未だ見通せないなか、町民に寄り添い、誰ひとりとして取り残されることのない行政運営が求められるが、今後の対応について当局に見解を伺う。</p>	町長 教育長 部課長